

2015年8月24日

<報道各位>

株式会社ジェーシービー

**JCB、3年連続でビジット・ジャパン地方連携事業を展開
～台湾、韓国、香港会員を中部北陸地域に誘致する観光振興施策を実施～**

日本発唯一の国際カードブランド運営主体である株式会社ジェーシービー(本社:東京都港区、代表取締役兼執行役員社長:浜川 一郎、以下:JCB)は、国土交通省中部運輸局および中部広域観光推進協議会と協働し、「昇龍道プロジェクト」(※1)の一環として、台湾、韓国、香港のJCB会員を日本へ誘致する取り組みを行います。

JCB は、2013年度に、観光庁が推進する「訪日旅行促進事業」(ビジット・ジャパン事業)の地方連携事業の一環として、台湾のJCB会員を中部北陸地方に誘致する施策(優待価格での観光ツアーや、加盟店優待ご提供)を実施しました。当時、中部地区のビジット・ジャパン地方連携事業へのカード会社の参画は初の試みでしたが、中部北陸地域を海外にPRした実績が評価され、2014年度、そして本年度も引き続きビジット・ジャパン地方連携事業として、当社が昇龍道ツアー等の施策を展開する運びとなりました。詳細は別紙をご確認ください。

JCB は今後も、国内・海外各地のパートナーとさらなる関係強化を図り、各地の観光や地域経済の活性化に寄与すべく、JCB ならではのインバウンド誘致の取り組みを拡大してまいります。

※「昇龍道プロジェクト」: 海外からの観光客増加を目指した中部北陸地域9県の官民協働によるプロジェクト。中部運輸局、北陸信越運輸局、および中部広域観光推進協議会が主体となり、各県の自治体、観光関係団体、観光事業者等と協働して中部北陸圏の知名度向上を図り、主に中華圏からインバウンドを推進するもの。能登半島が龍の頭の形に、三重県が龍の尾に似ており、龍の体が隈無く中部北陸9県を昇っていく様子を思い起こさせることから名づけられました。

<本件に関する報道関係者からのお問合せ先>
株式会社ジェーシービー 広報部 広報グループ
TEL:03-5778-8353

別紙:施策概要

JCB 会員向け昇龍道ツアーについて		各国・地域の大手旅行代理店とタイアップし、JCB 会員限定の優待価格でツアーを提供し、昇龍道地域への誘致を実施。JCB は、会員へ送付するカード利用明細書やメールマガジン、また旅行代理店のマーケティングチャンネルを通じて、ツアーの告知を実施。
JCB会員向け 『「昇龍道」JCBクーポンブック』	優待内容	中部北陸地域の人気百貨店・商業施設など約60施設とタイアップし、台湾、韓国、香港のJCB 会員向けに割引などの優待を提供。
	提供期間	2016年7月31日(日)まで
	優待店	ジェイアール名古屋タカシマヤ、名古屋三越栄店、松坂屋(名古屋店・静岡店)、名鉄百貨店、丸栄、津松菱、静岡伊勢丹、近鉄百貨店(近鉄パッセ・四日市店・草津店)、そごう・西武(西武福井・西武大津)、ながの東急百貨店、大和、名古屋 PARCO、ミッドランドスクエア、新静岡セノバ、ドン・キホーテ(名古屋栄店・静岡松富店・中川山王店)、三井アウトレットパーク(ジャズドリーム長島・滋賀竜王・北陸小矢部)、ビックカメラ(名古屋駅西店・浜松店)、アルペン(スポーツデポ山王店・ゴルフ5山王店)、軽井沢・プリンスショッピングプラザ、中部国際空港、富山きときと空港など
	配布数	約 2 万部
	配布場所	JCB昇龍道ツアー参加者の他、台湾、韓国、香港の旅行代理店、国内の空港、商業施設など